

認定NPO法人こまちぷらす (2012年～)

Vision

— 私たちが目指している社会 —

子育てが
「まちの力」で
豊かになる社会へ

Mission

— 私たちの役割 —

孤立した
子育てをなくし
それぞれの
人の力が活きる
機会をつくる

Slogan

— スローガン —

子育てを
「まちで」
プラスに



事業概要

毎週事業説明を無料で
ZOOMでしています



昨年共著出したので
詳細こちらにも！



こまちカフェ

#子どもの見守り
#遊び場
#お菓子工房
#手づくり雑貨マルシェhaco+
#イベント



こよりどうカフェ

#歴史400年のお寺
#小さなヨリドコロ
#お惣菜



居場所づくりの展開
3枚の葉っぱ

#対話と出番
#居場所が増える
#対話のツール



講演 / 調査 / 研究

#働きやすい職場
#子育てしやすいまち
#イノベーション



でこぼこの会

#障害



ケアラズカフェ
えんがわ

#ダブルケア



ウェルカムベビー
プロジェクト

#出産祝い
#まちの人の参画
#協働のプラットフォーム



ほっと一息金曜日

#不登校
#ひきこもり



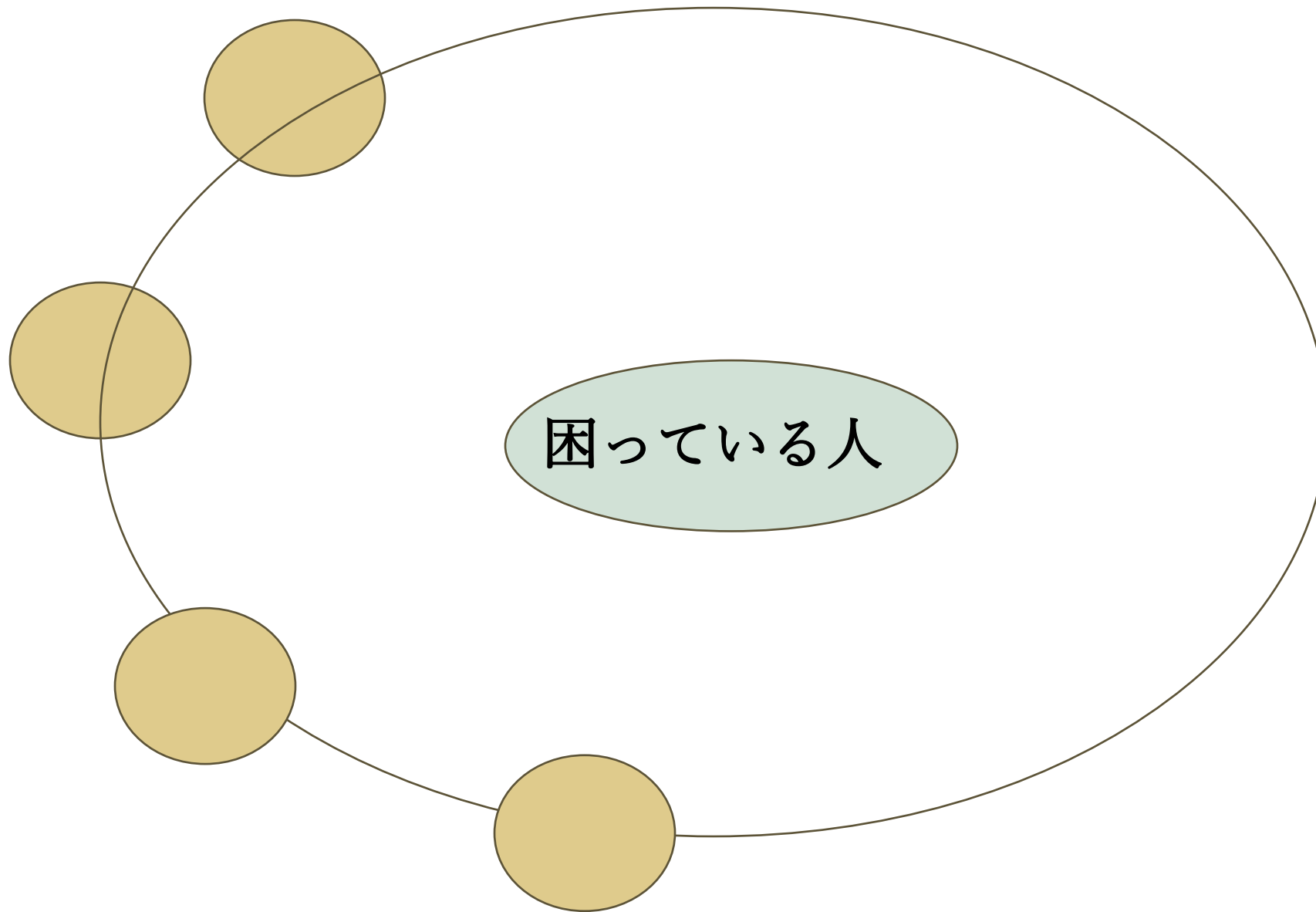
戸塚宿ほのぼの商和会
事務局

#子育て×まち
#商店×まち
#子育てウェルカムな風土

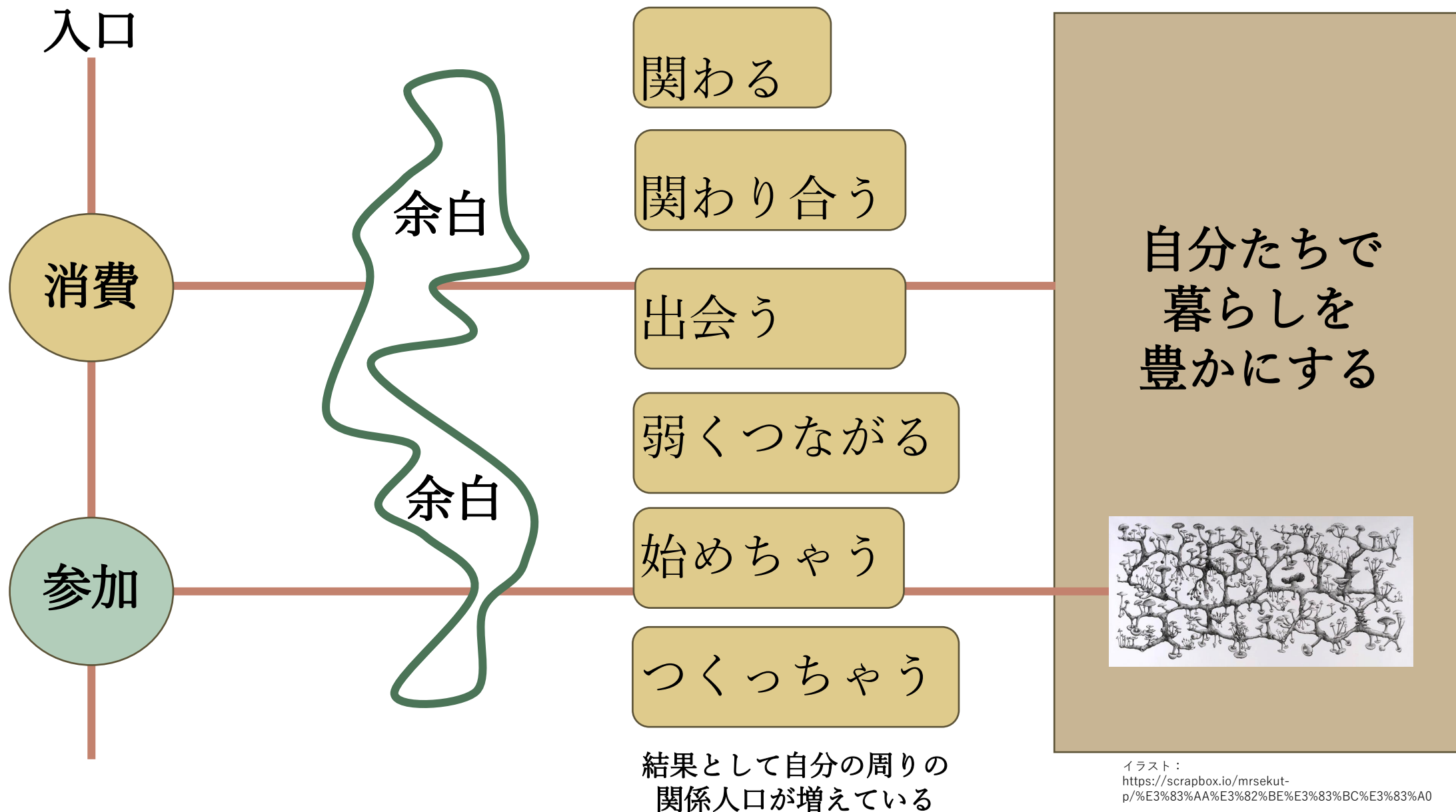


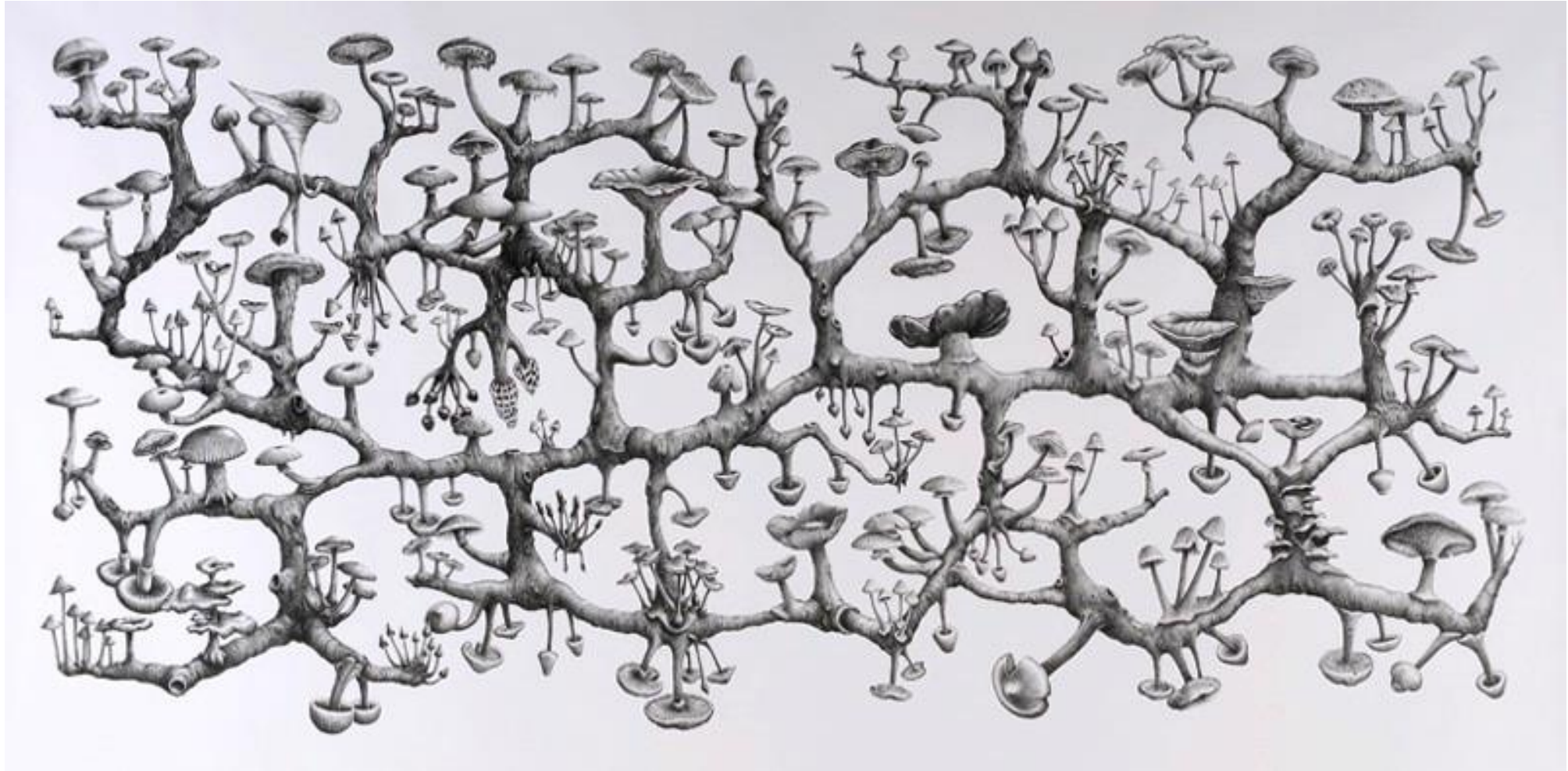
とことこ /
地域こそだてカレンダー

#当事者目線
#家から出られなくても
#情報提供



よくある図。でも、この図で目指している「解決」とは・・・??



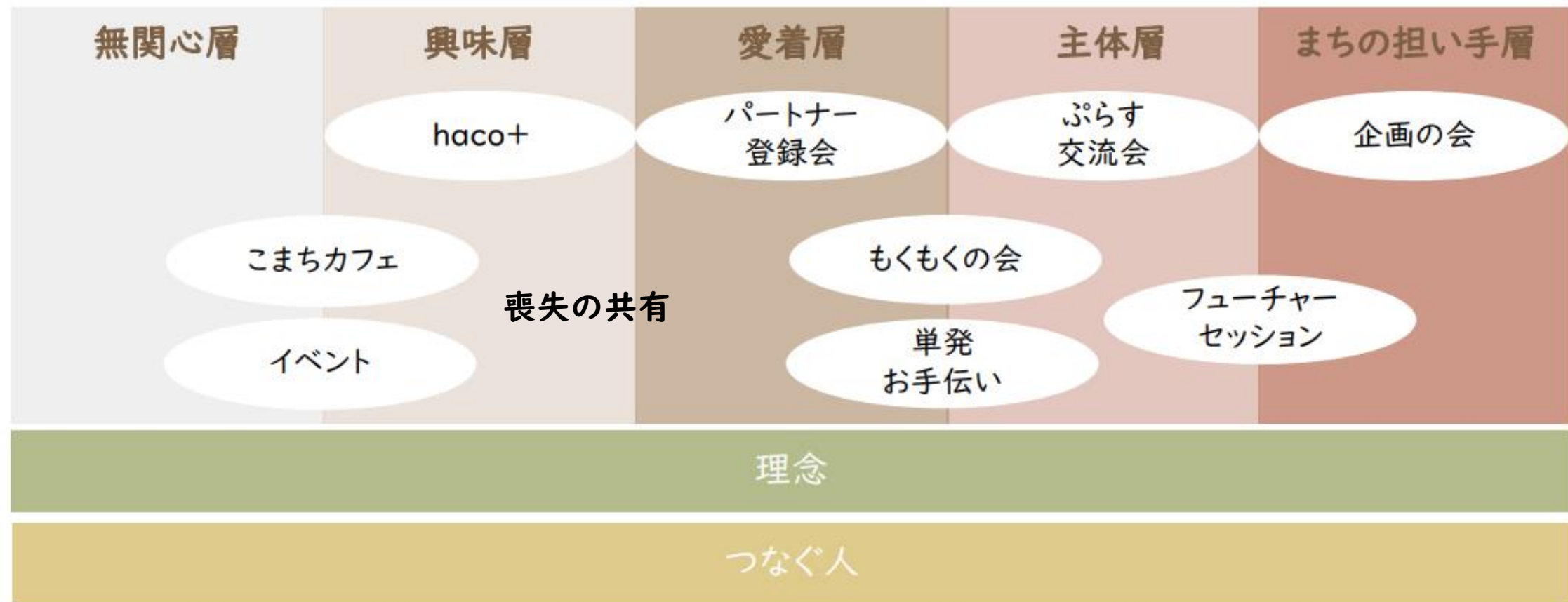


リゾーム

イラスト：
<https://scrapbox.io/mrsekut-p/%E3%83%AA%E3%82%BE%E3%83%BC%E3%83%A0>

出番をつくる・まちの担い手が結果的に増えていく

まちの担い手が生まれる「こまちカフェモデル」



まちでの活動量:少
まちへの視野:狭

まちでの活動量:多
まちへの視野:広

図2:こまちカフェモデル



トヨタ自動車（株）にて海外営業や海外調査を担当。第一子出産直後に感じた育児における孤独感やその後救われた経験から、2012年に退社しこまちぷらすを当時のママ友数人と立ち上げる。

委員関係

2013年9月～2016年10月	横浜市子ども・子育て会議委員
2014年7月～2015年3月	横浜市地域子育て支援拠点における 利用者支援事業のあり方検討会委員
2016年11月～2021年4月	戸塚宿ほのぼの商和会副会長
2017年11月～2018年3月	「横浜教育ビジョン2030」に関する懇談会委員
2018年7月～現在	横浜市教育委員会委員
2019年4月～2021年3月	横浜市市民協働推進委員
2024年4月～現在	横浜地方裁判所委員会委員

イスラエル政府招へいプログラム「女性ヤング・リーダーシップ・プログラム」に女性代表団・第3回チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞にて入賞

- 産後言葉にならない孤立感、相談の発想なし（自分のせい・自分が悪い）

- 保健師が家庭訪問に来てくれる。

1枚チラシ「子育て支援拠点をつくる＆参加してくれる市民を募集」を渡してくれる。

➤ 藁をつかむ思いで応募。関わる中で、20-80代までの知り合いが増えた。情報はあるところを知っていればたくさん手に入ることを知り、全くたどり着けなかったことに愕然とする。

- 幅広い年齢の支援者や当事者と知り合う＆学ぶなかで、意識と行動が変わる。

※子どもをたくさん会議の度にいろんな人に抱っこをしてもらうことで、家族以外の「まち」の人に頼れるように。

※多様な価値観を知ることで、自分の中の「ねばならぬ」がなくなっていく。（いろいろOKなんだ！に気づく）

※参加することで社会の一員という感覚を取り戻す。自分の社会での役割を実感。多くの仲間を得られる。



対話の場と出番をつくる



ボランティアの
方が赤ちゃんや
こどもを見守り。

お母さん、
お父さんたちが
ご飯をゆっくり
両手で味わって
食べることがで
きる場。

カフェにおける「対話の場」の事例

対話の場と出番をつくる

ダブル
ケア

ケアラースカフェ「えんがわ」

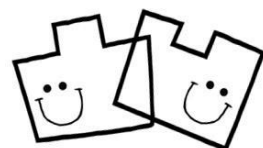


誰かを「ケア」しているあなたのための...



障害

「でこぼこの会」



不登校
ひきこもり

「ほっとひと息金曜日」



当事者の親、当事者が気持ちを吐露。
情報交換や学びを得る場に。
つながりが生まれる場に。

運営の多くが寄付で支えられています。

400年の歴史のあるお寺にて運営（戸塚駅徒歩5分）

こよりどうカフェ

comachi
plus



対話の場と出番をつくる



組織概要

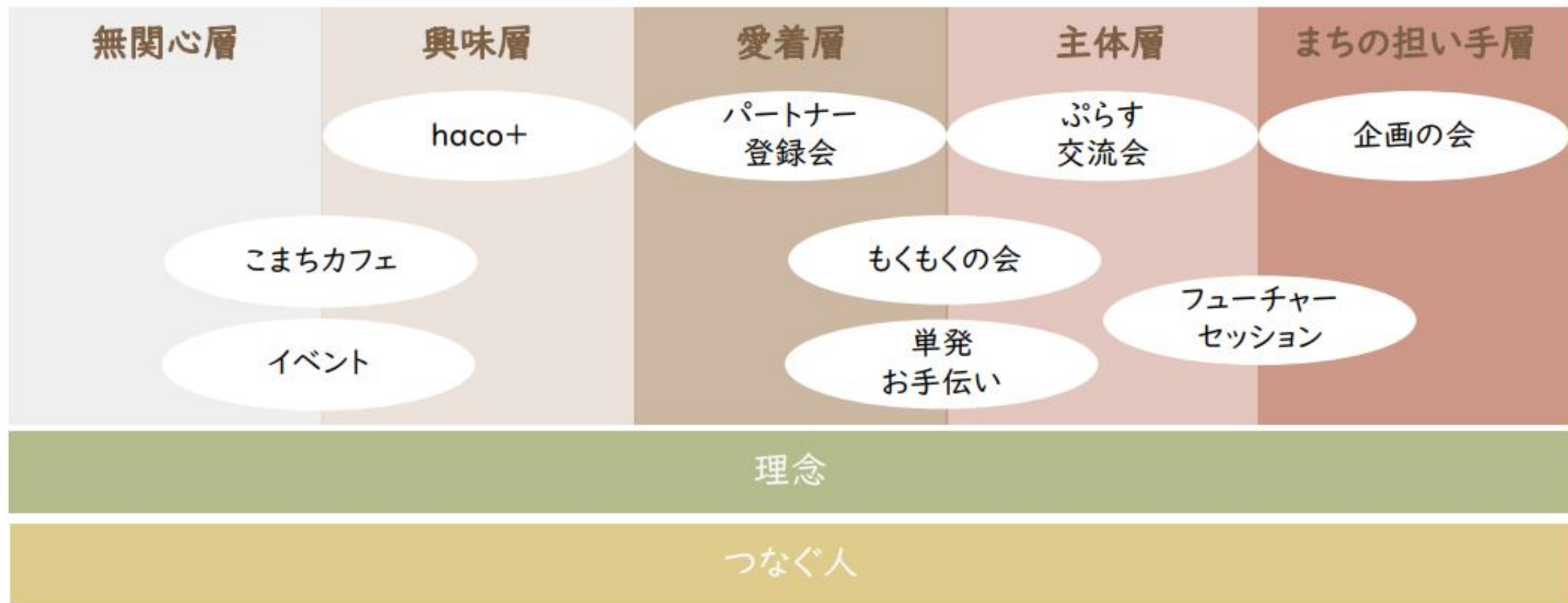
スタッフ人数：約**46**人（2024年10月現在）

登録ボランティア数：約**340**人（こまちパートナー）



出番をつくる・まちの担い手が結果的に増えていく

まちの担い手生まれる「こまちカフェモデル」



まちでの活動量:少
まちへの視野:狭



まちでの活動量:多
まちへの視野:広

声のデータベース化 1000以上



<https://www.comachileaf.com/workshops/111/login?code=0221>

こちらにはその一部のみ抜粋したものを表示しています
年代町名などを入れる場所がありますがダミーで仮で構いません。

- ・カフェに集まった声
- ・パブリックコメント
- ・他NPOが集めた声



相談になる前の声

ウェルカムベビープロジェクト

まちからの出産祝い



comachi
plus

ホテル

家事代行サービス

商店会有志からの
絵本

液体ミルク

離乳食スプーン

タクシー会社からの
チケット

保険会社×地域作家
手づくりスタイ等



まちの中で我が事として、子育てに関わる人口を増やす

ウェルカムベビープロジェクト

まちからの出産祝い



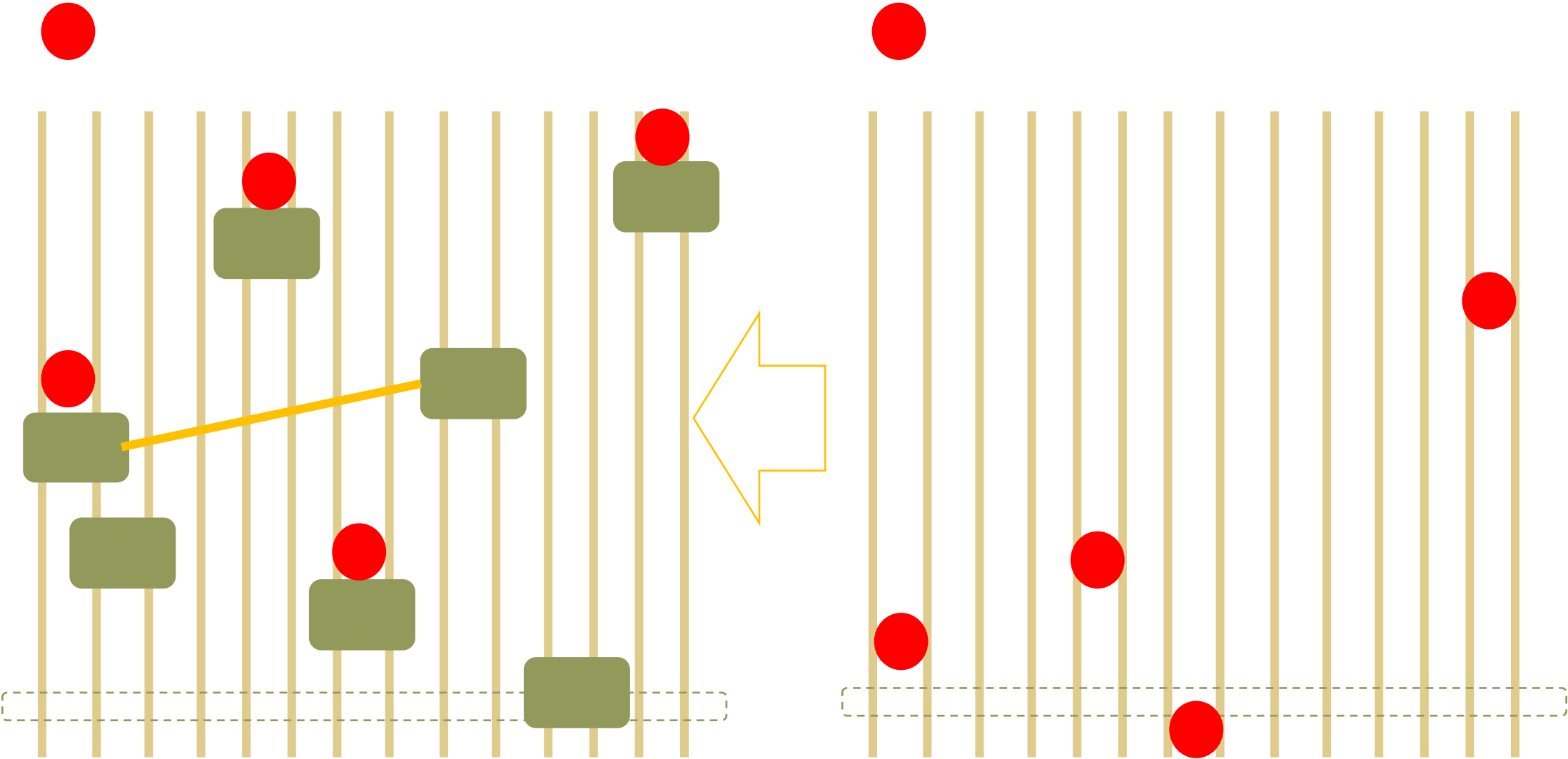
comachi
plus



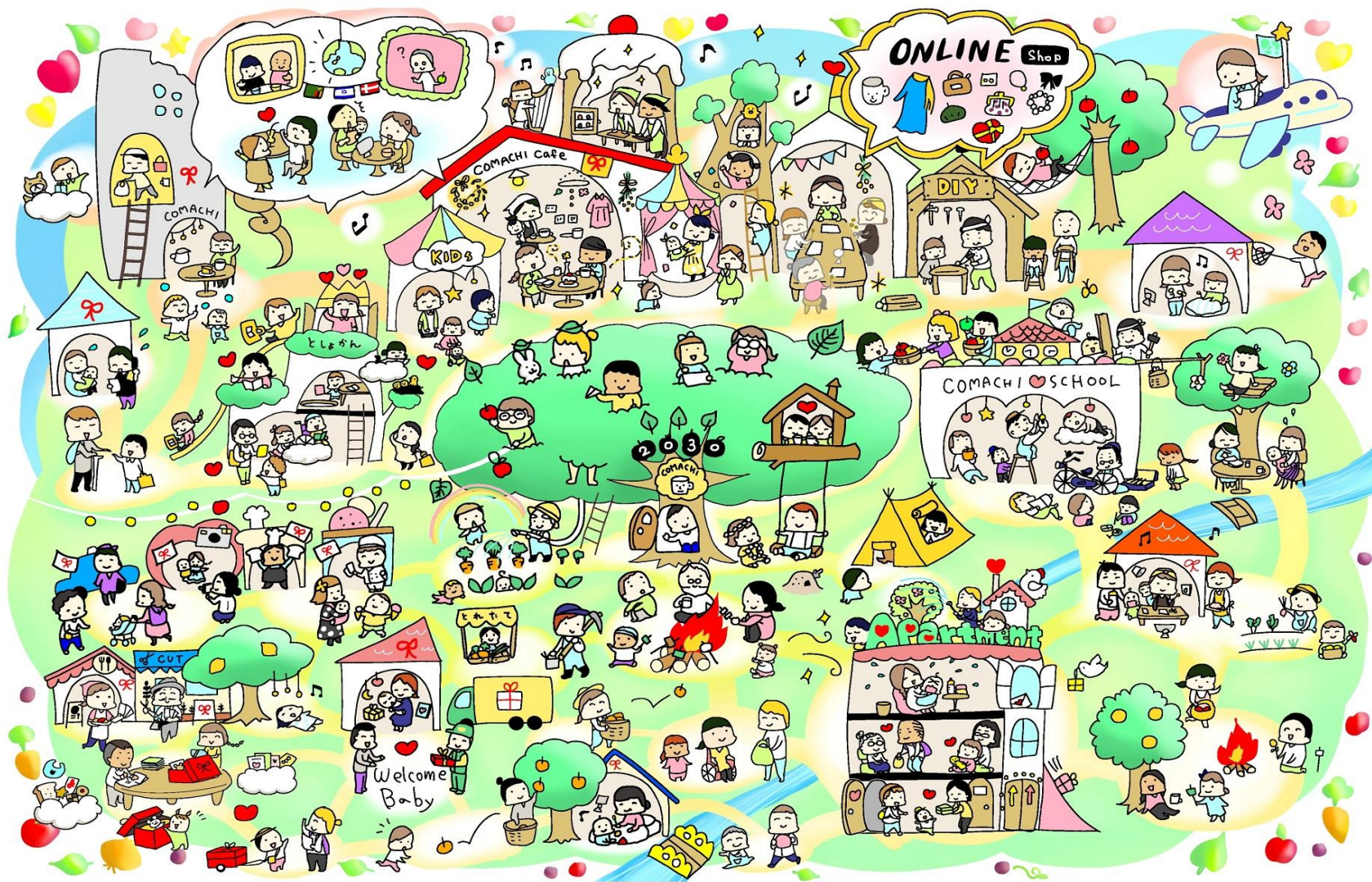
小学生、中学生、
高校生、大学生、
妊娠中の方、
出産祝いを受け取った方、
90歳代の方が
年間延べ900人出産祝い
づくりに関わる

まちの中で我が事として、子育てに関わる人口を増やす

制度・サービスの「間（はざま）」に「なんとかなるクッション」



未来に向けて ～子育てが「まちの力」で豊かになる社会へ～



現在取り組んでいること

より居場所を豊かに、日本中に立ち上げやすい環境を

1) 2016年よりプログラムを開発。（日本財団/トヨタ財団/みてね基金等の助成を受けながら）

2) 2018年より伴走支援のためのプログラムや人材育成。

年1－4回の「居場所づくり」講座（1回10人程）の実施。

3) 2022年度 プログラムを拡大。

- ・全国の居場所づくりを志している人たち向けのオンライン講座実施。

（北海道・山形・仙台・長野・横浜（南区・港南区）・岡山・熊本等）

- ・インターンの受け入れ。

- ・帳票類のオープンソースを作成。延べ105団体・個人へのノウハウ展開。（オープンソースダウンロード48件含む）

4) 2023年度以降 各地域に出向いた講座パッケージの展開 ・海外への発信



「居場所」づくりの展開

より居場所を豊かに、日本中に立ち上げやすい環境を

岡山



長野



北海道 ※北海道以降は現在未定/開拓中



心地よい関わりが生まれる カフェ型居場所のつくりかた in 北海道

講座説明会のお知らせ

↓お申し込みはこちら↓

居場所になるカフェをつくりたい、でも、どこから始めたらよいのか…
知識も、情報も、経験も、何もかも足りない… そんなあなたに朗報！
オンライン講座とカフェインターンシップを組み合わせた講座が
北海道で始まります！まずは説明会へ！



認定NPO法人こまちぶらす

「子育てを『まちの力』で豊かに」をビジョンに、神奈川県横浜市戸塚区にてカフェ型の居場所2か所を軸に、まちの様々な団体・個人との協働に取り組む。居場所づくりに取り組みたい方向けの各種講座や視察受け入れ等も実施。

メインナビゲーター 多田香葉

認定特定非営利活動法人こまちぶらすマネージャー。こまちぶらすでは、参加（ボランティア）のコーディネートや居場所づくり講座を担当。全国の居場所づくりに関心のある方、立ち上げたい方とともにこまちカフェの事例を伝えながら学びあう場を展開する。その他情報部門、約100会員が所属する商店会事務局を担当、まちのなかでも参加の機会をつくっている。

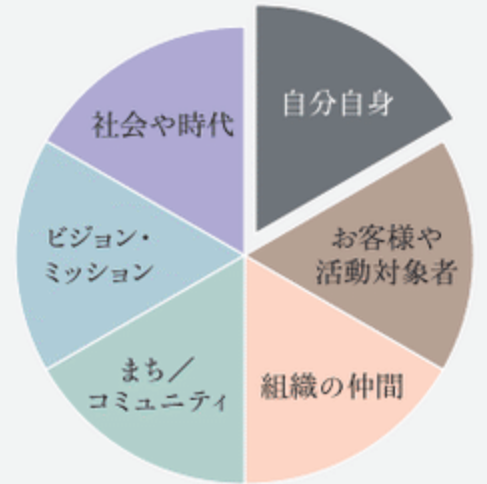
共催：一般社団法人haconiwa / 認定特定非営利活動法人こまちぶらす

協力：一般社団法人North-Woman

相談になる「前」のつぶやきの声をつぶやける
「よくしようとしないうち」

こまちぷらすのクレド

6つの視点と土台



尊厳・人権・法律はもちろんのこと、
最後は良心に照らして行動する

自分自身

私の原点、私の琴線、
私の専門性

自分の原点、「楽しい」、共感、安心、ありたい姿を大事にしよう。

自分の視野は5度

自分の見えている視野はたったの5度。他の人から見えている5度も意識しよう。

組織の仲間

豊かにゆらぐ

「正しさ」も本当にそうなのかと、つながりのなかで豊かにゆらいでみよう。

「のりしろ」と「関わりしろ」
のあるチームに

嬉しいエピソードを仲間と共有しよう。人が関われる余白を仕事の中につくろう。

ビジョン・ミッション

子育てが「まちの力」で
豊かになる社会につながる

迷ったらまず、ビジョン・ミッションに立ち返ろう。

事業を支える人・つながり、
お金が続く仕組みがある

組織的に、経済的に、持続可能な仕組みになっているか立ち止まって考えよう。

お客様や活動対象者

ラベルで人を見ず、
人の6面を見る

人は自分が今見ている1面のほか、5面くらいあることを忘れないようにしよう。

良くしようとするのは
やめたほうがよい

自分が「良い」と思っていることだけを基準に相手の状況を変えようとしな

まち／コミュニティ

遠くに行きたければ
みんなで行く

自分たちだけでやろうとしない。時間がかかってもみんなで行けば遠くにいける。

関わる人が幸せに、
まちも豊かに

関わる人、一人一人が嬉しく、まちも結果豊かになる循環をつくろう。

社会や時代

声なき声を聴き、
翻訳しよう

埋もれたニーズを一人一人の声やデータから拾って伝わるよう翻訳していこう。

やってみなくちゃ、
わからない

未来は誰もわからない。あれこれ考えてもわからないときは、まず小さく動こう。

相談になる「前」のつぶやきの声をつぶやける
「よくしようとしなない場」

喪失の共有、願いの共有、やりたいをそもそも考える時間、
共有できる空間、挑戦できる小さな機会。

地域に関わるを「私」の視点から

欠けている部分をつきつけられることが多い



地域に関わると、**地域で「足りていない部分」「欠けているピース」**がとっても多い。地域に関わる中で立体的に、**自分の形**が見えてくることがある



「私はこんなことが好きだったのかも」「こんなことも私できたんだ」「へーー！」という感覚。地域に関わるということは、これまでの指標等とは別次元で、**自分と関わりなおすこと。**

相談になる「前」のつぶやきの声をつぶやける
「よくしようとしなない場」

喪失の共有、願いの共有、やりたいをそもそも考える時間、
共有できる空間、挑戦できる機会。

「なんだか参加したくなる」プラットフォームづくり
(市民発意×参加が広がるデザイン)

相談支援：

相談になる「前」のつぶやきの声をつぶやける
「よくしようとしないうち」

参加支援：

喪失の共有、願いの共有、やりたいをそもそも考える時間、
共有できる空間、挑戦できる機会。

地域づくり：

「なんだか参加したくなる」プラットフォームづくり
(市民発意×参加が広がるデザイン)